

# 生命科学演習

前期10コマ (ユニット1～6：2単位)  
評価責任者：研究科運営委員長

## 〔一般目標〕

研究計画を立案・遂行し、得られた結果をまとめ、発表する課程で必要となる基本的な手技、方法などを総合的に習得する。

## 〔教育方法〕

スライド、プリント、学内LANによる講義、演習

## 〔評価〕

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	5/30 (火) 3限・4限	日高 (研究倫理責任者)	ユニット1 研究倫理と ミスコンダクト	研究倫理に関する意識を高めて、研究者に求められる行動規範を説明できる。	1. 研究倫理のミスコンダクトを列挙し、説明できる。 2. 研究倫理研究カリキュラムをe-learningにより受講し、修了できる。	研究倫理に関する記事や文献に目を通しておく。	配布プリント、学内LAN	502 教室
2								
3	6/6 (火) 3限	大星 (情報図書館長)	ユニット2 文献検索法 (講義)	学術情報の収集に不可欠な文献検索の基礎的な知識と検索方法を理解する。	1) 科学的文献の種類を列挙し説明する。 2) 主要な文献データベースを説明する。 3) 英語論文の検索方法を説明する。 4) 日本語論文の検索方法を説明する。	図書館ホームページ <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col/info/lib/index.html">http://www.fdcnet.ac.jp/col/info/lib/index.html</a> を検索しておく	プリント	ラーニング コモンズ
4	6/13 (火) 3限	田中 (アニマルセンター長) 吉永	ユニット3 実験動物の 取り扱い	信頼性の高い研究結果を得るため、実験動物の取り扱いを理解する。	1) 実験動物の倫理を十分に理解し、動物愛護の精神で実験動物に接することができる。	「動物の愛護」についてインターネット等で調べておく。	実験動物指針 アニマルセンターホームページ	アニマルセンター
5	6/13 (火) 4限				2) 実験動物の衛生管理や病気・人畜共通感染症の予防法を理解し、適切な処置を実施できる。			
6	6/13 (火) 5限				3) 小動物・大動物の特性を理解し、正しい取り扱いを説明できる。 4) 麻酔、採血、各種投与などの実験手技の基本を理解し、適切に応用できる。			

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
7	6/20 (火) 3限・ 4限・ 5限	内藤	ユニット4 文献検索法 (演習)	医学文献検索の基本である Pubmed の基本的な操作法とそのデータベースである Medline の基本構造を理解する。	1) Medline のデータベース構造を説明する。 2) Medline の MeSH について説明する。 3) PubMed の検索式のルールを列挙する。	学内 LAN に接続可能なパソコンを持参すること。	配付プリント	総合歯科カンファレンス室
8			ユニット5 EBM 入門	EBM の基本的なコンセプトと研究デザインとエビデンスレベルの関係について理解する。	1) Clinical Question を作成することができる。 2) PICO を組み立てることができる。 3) EBM の実践方法を説明する。 4) 各種の研究デザインを列挙する。 5) ランダム化比較試験の構造を説明できる。 6) サンプルサイズ推定の基本概念を説明する。	自分の研究計画を考えてくる、あるいは自分の研究計画に関連する先行研究の論文を持参すること。	配付プリント	
9								
10	7/4 (火) 2限	池邊	ユニット6 論文作成・成果発表法	科学論文の書き方とわかりやすい発表方法を理解する。	1) 科学論文の構造を理解する。 2) わかりやすい文章を書く事ができる。 3) 研究成果の発表法を理解する。 4) わかりやすい口頭発表ができる。	教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	プリント、スライド	502 教室